

小さなまちで、丁寧につくった贈り物。

太陽と水とみどり。

Higashisonogi

長崎県東彼杵町
ふるさとBOOK

2023
Vol. 5





長崎県のほぼ中央にあり、大村湾に面した東彼杵町。長崎空港をはじめ長崎各市、他県への交通の利便性もよく、日本の原風景残る自然豊かなこの町は、癒しを求めて足を運びたくなる里山として注目されている。

太陽と水とみどり

東彼杵町ふるさとBOOK Vol.5

Index

- 2- 目的で選ぶ!
【そのぎ茶】を楽しむシーン4選
- 4- 日本茶インストラクターおすすめ!
こだわり【そのぎ茶セレクション】
- 6- 東彼杵に生まれた2大観光スポット
【Sorrisoriso】&【uminoわ】
- 8- 東彼杵でザッハトルテを味わえる!
海が見えるケーキ店【グリユックリッヒ】
- 10- 野鍛冶の業が光る!
【森かじや】の包丁でクッキング
- 12- 和牛!マグロ!野菜!フルーツ!
魅惑の【東彼杵返礼品セレクション】
- 18- あなたの寄附が、町の未来を創ります。
【寄附金の使い道】
- 20- そのぎっ子の一日に密着!
【東彼杵の家族の一日】

「太陽と水とみどり」について

本誌のタイトルは東彼杵町町民憲章「太陽、緑、水そして爽やかな空気」の冒頭から抜粋しました。燦々と降り注ぐ太陽、緑あふれる山々や田園、清流と大村湾の豊かな水、そして、美味しい空気に包まれた東彼杵町。これらの美しい自然が育んだ農産物や海産物、加工品などを、東彼杵町ふるさと応援寄附金に支援して下さった皆さまへのお礼の品をご用意しております。

○印刷の都合上、実際の商品と色や質感が若干異なる場合がございます。○サイズなどは多少個体差がある商品がございます。○掲載商品の仕様、寄附額の変更や取り下げを予告なく行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。



東そのぎのスポットへおいでませ



JR千綿駅

昭和3年に営業が開始され、改築しつつ今にいたるJR千綿駅。大村湾に接したレトロな無人の木造駅舎を抜けると、美しい大村湾が一望できる。夕映えに輝く湾をバックに、多くの写真愛好家も訪れてやまない風光明媚な町のシンボル。



赤木の茶畑

昭和9年。赤木原の開拓に村民一体となって情熱を注ぎ、開墾した地で特産品のそのぎ茶は産声をあげた。東彼杵の風景といたら、茶畑を挙げない町民はいない。それだけ、この地域の人にとって茶畑は切っても切れない、町の顔なのだ。



道の駅 彼杵の荘

2002年に開業し、2022年にリニューアルを果たした東彼杵町の道の駅。町特産のそのぎ茶を始め、地元産の採れたて食材やオリジナル弁当、長崎銘菓などがズラッと並ぶ。東彼杵町に遊びに行くなら、外すことはできない観光スポットだ。

さいとう宿場

東京から移住してきた齊藤ご夫妻が営む宿場。移住先を探す旅の途中で、当時空き家だった「恵比寿屋御旅館」と出会った。海が見え、鉄道を眺められるこの地で都市部とローカルの人と人を繋ぐ宿屋をやりたいと、2019年夏に再生させた。



魚徳

長崎名物の「くじら料理」。くじら肉は、彼杵の宿に荷揚げされ、生又は塩蔵された物が九州各地に運ばれてきた歴史がある。そんな伝統のくじら肉を食べるなら、本場東彼杵の魚徳で決まり。また、新鮮な西海の幸も豊富に取り揃えている。